

令和 2 年 10 月 27 日

令和 2 年度 第 2 回 大阪市立真住中学校 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立 真 住 中学校

校 園 長 名 山 口 博 功



日 時	令和 2 年 10 月 22 日 (木) 午後 7 時～午後 8 時 30 分	
場 所	大阪市立真住中学校 多目的室 1	
出席者	委員 など	井上 利明 (会長)、倉田 実 (副会長)、郷原 由香 (委員)、宮川 香世 (委員) 伊藤 裕幸 (委員)、大澤 智久 (委員)、大西 孝明 (委員)、 山口 博功 (委員、真住中校長)
	校 園	藤田 克史 (真住中教頭)
	区役所	松永 貴美 (総務課教育担当係長)
議 題	1. 令和 2 年度「運営に関する計画」中間評価について 2. 生徒・保護者・教職員アンケート (8 月実施) の結果について 3. 学校元気アップ地域本部事業活動報告 4. 意見交流 (学校経営および教職員に関する) 5. 次回 (第 3 回学校協議会) 開催について	
協 議 要 旨	協議の結果	意見の概要
	1 「運営に関する計画」中間評価について、山口委員より説明。協議のうえ、了承をいただいた。 2 各アンケートの結果について、山口委員より説明。 3 宮川委員より活動報告。 4 各委員より学校経営および教職員に関する意見をいただいた。 5 次回、第 3 回学校協議会を令和 3 年 2 月 25 日 (木) 午後 7 時に開催することの了承をいただいた。	1 ・特に意見、異議なし。 2 ・特定の教科・教員に生徒からの評価の低さがめだつが、教員は評価を自ら受け入れて、改善するように努力すべきであるとともに学校としても何らかの改善、対応がとられるべきである。 ・全体的に学年が上がっていくほど、教科に対する意識が低くなってきている。 ・小学校からの (学習の) 積み重ねが不十分なところがあるので、苦手な部分を伸ばしていったほしい。 ・アンケート結果について、住之江区全体的に「自己肯定感」や「将来の夢を持つ」ことの低さが見られる。総合的な学習の時間等を使って、それらの向上を図ってほしい。大人になることを楽しみにできるように変わってくれば。 3 ・「元気アップ学習会」や「みらいベース in ますみ」は順調に実施されている。10 月 10 日の土曜授業において、『元気アップ落語会』と『和太鼓演奏会 (チーム夢望)』を実施し、生徒に日本の伝統芸能を体感してもらうことができた。3 月には『読み聞かせ』(1 年対象) を予定している。

		4・学校の「組織フロー図」について、実際に運用していくには大変な作業であると思う。先生方のリテラシーがどこまであるのか疑問である。本気で主体性を持つことが必要である。難しいことにチャレンジしていると思うが、人選が適切であるのかわからない。まず、先生方が理解することからではないか。 ・結果があらわれるには少し時間がかかると思われる。結果を出すことを急がないように、焦らないようにしてほしい。 ・教科についてのアンケートの中で、教科の学習が「将来の役に立つ」と回答した生徒の割合が低かった原因は何か。 ・若手の先生からベテランの先生へ意見が言いやすい職場環境づくりができればよい。もっと教職員の意見を引き出せるようにしてほしい。 5・令和3年2月25日（木）19:00～、真住中多目的室にて開催することで異議なし。
協議資料	「令和2年度運営に関する計画」中間評価、「令和2年度学校評価アンケート（生徒・保護者・教職員）結果」、「令和2年度8月生徒・保護者・教職員アンケート結果リサーチ」、「令和2年度真住中学校組織フロー図」他、「元気アップ通信 10月号」「みらいベースチラシ10月21日イベント」「真住中11月行事予定表」	
備考	傍聴者[0]名	